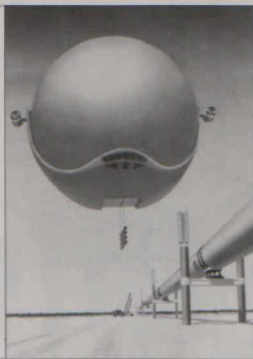


ペール一等書記官(D・マクニコル)○広報 R・W・H・ジョーンズ一等書記官(B・バーネット)○林産 P・ドラブル三等書記官(G・スコット)○一般消費財 J・ミロ二等書記官(L・ポアペール)。

細菌で飲料水を浄化 カナダの研究者が実証

バクテリアを使って水中の汚染物質が除去できることを、カナダの研究者が証明した。

「水を浄化する最良の方法は、自然そのものを利用することにあると考えた。水中の汚染物質を喜んで食ってしまう細菌がある。そ



本紙第41号でも紹介したこの飛行船(写真)が、いよいよ86年に生産開始される見込みとなった。LTA20-1 (LTAは「空気より軽い」という英語の頭文字)と呼ばれるこの飛行船は、ケベック州にあるバン・ドゥッセン (Van Dusen) 社が開発したもので、垂直に離着陸し、球体の部分が「マグナス効果」により水平軸にそって回転しながら飛ぶ。地形調査や監視、資材運搬に適している。最大運搬能力は45トン。

れをうまく利用しようと思った」と語るのは、NRC (科学技術振興事業団) から助成金を得て研究したクレイン・エンジニアリング社のクレイン社長。

クレイン氏によると、ある種の細菌に酸素を与えると大いに繁殖した。ヘド口状になったそれを、特殊な鋼鉄製フィルターにかけるフィルターの上を水が通ると、その上にねばねばした膜状のものができる。そのねばねばしたものが細菌の集まりで、通過する水に含まれている微生物やフェノール、リン酸塩、肥料成分、鉛、放射性核種、DDTなどの合成殺虫剤といった汚染物質を食べてしまう。

「あとは残留物を除去するため、塩素をわずかに加えるだけ」とクレイン氏。しかも、この浄化方法は、通常の方法と同じくらい効果的で、しかもはるかに経済的かつ健康的だという。

デイスプレー装置の放射線 カナダ厚生省が「安全」報告

オフィスや家庭で広まっているコンピュータのデイスプレー装置(ビデオ・デイスプレー・ターミナルVDT)について、健康への影響が懸念されているが、カナダの保健・厚生省はこのほど「放射線に関しては全く心配ない」との報告書を発表した。

厚生省は、他の政府省庁による調査を検討したほか、独自に規制値の五十万分の一のレベルのエッ

クス線を測定できる装置を使って五十二種のVDTを調べた。

その結果、操作中のVDTは検出可能なエックス線を何ら生ぜず、発生する可視光線も曇天の戸外における光度の二十分の一しかないことが判明した。

また紫外線と赤外線も、検出不能か、検出されても職業上の照射規制値の約一万分の一と低かった。超短波線も検出されなかった。低周波数のラジオ周波(RF)は若干、一部のVDTの表面から検出されたが、オペレーターの位置ではほとんど感知できなかつた。超低周波は、他の一般的な電気製品と同じ程度のものが検出されたが、健康には影響ないという。

ダッシュ8、初飛行テストに成功 三六人乗りの近・中距離旅客機

カナダのデハビランド社が、三年がかりで製作に取り組んでいた近・中距離旅客機「ダッシュ8」が、このほど九十分間の初飛行テストに成功、型式証明の取得に一步踏み出した。



ダッシュ8

おりののを待って、最初の引き渡

し先であるオンタリオ州の地域航空会社ノーオンテアに届けられることになっている。

ダッシュ8は、ターボプロペラ・エンジン二基を搭載した三十六人乗りの旅客機で、高高度を飛んでも内部の気圧が正常に保たれているほか、速度二百六十ノット、航続距離六百公里(約千キロ)、離陸に要する滑走距離八百二十六メートルと、同種機と比べて多くのすぐれた魅力を備えている。

三菱電機、カナダに工場 カラーブラウン管を生産

三菱電機がオンタリオ州ミッドランドにあるRCAカナダのカラーブラウン管工場を買収することになり、失業率が三割をこえる地元で歓迎されている。

このRCA工場は昨年十二月に閉鎖されたもので、三菱電機はこれを二千万ドル(約三十八億円)で買収、さらに五年間に二千六百万ドルをかけて施設の近代化と製品の多様化を図る。これだけの資本投入と日本からの技術移転により、生産性は三倍以上も増大し、逆に総経費は大幅に減少することが見込まれている。カナダの製造業に対する日本の企業投資としては、これが最大。

三菱電機はカナダに一〇〇%出資の現地法人を設立してミッドランド工場を引き継ぐ。元従業員約六百人の中からおよそ二百四十人を新たに採用して、今年末から生

産に入る構えて、一九八七年までには残り三百六十人も雇用する計画。

新会社は当初カラーテレビ用ブラウン管を月産三万本のペースで生産するが、軌道に乗ればOA機器のカラーディスプレイに使う高解像度ブラウン管の生産に移行するという。

マルロー二氏が初議席

八月二十九日にノバ・スコシア州で行なわれた連邦下院議員の補欠選挙で、先に進歩保守党の党首に選出されたフライアン・マルロー二氏が当選した。

補欠選挙は、同党の現職議員がマルロー二氏に議席を譲る目的で辞任したあとを受けて実施されたもので、当選は確実視されていた。マルロー二氏はこれで初めて連邦議会に議席を得たことになり、第一野党党首として政府に代表質問ができるようになった。

下院の議席数は、現在、自由党一四七、進歩保守党一〇三、新民主党三一、無所属一。任期は八五年春までだが、その前に総選挙が実施されるのは必至と見られている。

●大使館案内

○日加産業協力セミナー 十月十三日 大阪ロイヤルホテル、十四日 東京・経団連会館
○海洋産業展 十一月八―十日 カナダトレードセンター